

合の取り扱い、学習方法や学習形態の効果的なあり方など、実践から生まれた貴重な発表があった

④ 全体会における研究討議

参加者から、施設設備の不足、教材、教具の不足、学習指導上における悩みなど、人的物的、さらに精神的な悩みなど活発な意見が出され、それについての反論、あるいは実践談などおろまぜられた、熱心な討議が行なわれた。

(3) 会津支部

(山村教育研究会、総会を兼ねて開催した。)

① 会場 河沼郡河東村立河東第2小学校 強清水分校

② 第1分科会

ア 研究主題

「学力の向上を図るために、小規模学校および分校の経営はどうあるべきか」

イ 研究発表

「分校経営の実際について」

奥川小学校飯根分校 後藤 正氏
地域社会との連携、本校との関連について具体的に即した発表があった。

ウ 研究発表

「学力の向上を図るための分校経営について」

明和小学校布沢分校 山内 こう氏
子どもが、自主的に意欲的に学習するよう導く方途について、貴重な経験を吐露された。

○「上記テーマと同じ」

猪苗代小学校渋谷分校 高橋 佳子氏
地域社会との連携（スキー大会、学芸会など部落全部参加、学校中心のあり方）朝自習による自学自習の態度の育成、楽しい雰囲気、学級づくりなどについて発表し、感銘を与えた。

エ 質疑応答

家庭学習のさせ方、単元学習、1年2年の時間数の差、分校の予算、日宿直の問題、劣等感などについて活発にして積極的な意見の交換がなされた。

③ 第2分科会

ア 研究発表

「学力の向上をはかるための、複式学級における国語科の学習指導」

山都第1小学校 宮沢ホマレ氏

間接学習のさせ方、ドリルの分類と方法、学習カードと遊びごっこ指導について経験の発表がなされた。

「国語科における複式指導の一考察」

川口小学校 野口 武雄氏

同題材指導の再検討、年間指導計画、学習指導と生活指導面の改善について発表がなされた。

○「複式学級における国語科の学習指導」

大木戸小学校閻川分校 遠藤 一夫氏
学力を身につけるため、プログラム学習を採用し、効果をあげた。プログラミングの苦心などを述べて注目を集めた。

イ 質疑応答

カリキュラムの作成、複式教科書の作成、学年別の到達度などについて話合われた。

④ 第3分科会

ア 研究発表

「複式学級における算数科の学習指導」

久保田小学校 佐藤 孝夫氏

低学年における同題材指導、文章題の効果的な指導について発表があった。

○「高学年複式の算数指導」

只見小学校蒲生分校 斎藤 儀一氏
指導計画は密に、自学の態度を培う、学習形態重視、教室環境の整備などについて所信が述べられた。

○「学力を向上するために、

年間計画をどう活用するか」

磐梯第1小学校更科分校

三 鈺 寅 吉氏

同単元、異単元のふり分け、教科書にない内容の扱いなどを中心に発表された。

イ 質疑応答

指導計画のたて方（主として教科書との関連）、文章題の指導、直接指導と間接指導、遅進児と個別学習などについて、意見の交換を行なった。

⑤ 全体会

教員定数増、山村へき地勤務教職員の優遇、研究指定校および研究会への助成金の増額などについて要望する決議がなされ、つづいて講演があった。

「山村教育の重点」

県立会津高等学校長 田中 平作氏

2 小規模学校研究協議会

(1) 期日 7月3日(火)

(2) 会場 郡山市立橋小学校講堂

(3) 概況

小規模学校における、指導と管理上の問題点について研究討議を行ない、管理者としての資質を高めるこ